

警戒レベルを知り防災意識を高めよう



日本では主に6月が雨期と呼ばれ、1年の中でも降水量が多い時期となります。それに伴い川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地滑りなどが発生しやすく、人々の生活や生命が脅かされるような自然災害が発生する可能性があります。

このような自然災害が発生する可能性があるときに状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。

これからやってくる雨期に備え、改めて災害発生時の行動を確認しておきましょう。



警戒
レベル
4

危険な場所にいる人は

「避難指示」で必ず全員避難！

警戒レベル	新たな避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～		
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報（気象庁）	災害への心構えを高める

参考：内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年度）」

* 警戒レベル5は既に災害が発生しており命の危険性がある状態です
警戒レベル5を待つことなく警戒レベル4までに必ず避難しましょう

防災情報もあるよ！



やまがた**110**ネットワーク
警察からの安全安心情報をメールで受信しよう！



※ 配信希望の方は、このQRコードから空メールを送信し、返信されたメールの案内に沿ってご登録ください。登録は無料です。

新庄警察署